Revival Mission News
RMN
2021 10 October

◉発行者／リバイバルミッション
◉〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
◉TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220
0120-291-372
◉office@j-revival.com
◉http://www.j-revival.com

バビロン構造を打ち破る！

キリストの再臨は近い！そして神の国の完成も近い！彼は力強い声で叫んだ。「倒れた。大バビロンは倒れた。…」

それから私は、天からもう一つの声がこう言うのを聞いた。「わたしの民は、この女の罪に関わらないように、その災害に巻き込まれないように、彼女のところから出て行きなさい。」（ヨハネ黙示録18:2･4）

聖書の預言は、必ず成就されます！

準備ができていた賢い5人の娘たちのように、良い準備をしなければなりません。バビロンとは、単に地理的な都市ではありません。聖書にあるバビロンとは、姦淫を犯した世の王たちと共にいる淫婦の母のことであり、この世を酔わせたとあります。バビロンがこの世を混乱させたのです。バビロンが堕落したこの世の構造そのものです。バビロンとバベルという語源は同じです。聖書では乱すと訳しています。バベルの塔を建てる目的は、神の聖名を呼ぶためではなく、人間に焦点を合わせ、人間の王国を建てようとしたところにあります。これは、「生めよ、増えよ。地に満ちよ。地を従えよ。」という神の命令に反するものでした。将に人間の虚栄心と神への不従順です。創世記3章で蛇の形で現れた悪魔は、エバを誘惑し堕落させ、神から断絶させ、神の祝福を失わせました。今は、バビロンの時代で猛威をふるっています。人間中心、物質中心、快楽中心です。

バビロン構造を打ち破る！

秘訣はヨハネ黙示録12章11節にあります。「兄弟たちは、仔羊の血と、自分たちの証しのことばのゆえに竜に打ち勝った。彼らは死に至るまでも自分のいのちを惜しまなかった。」

キリストの血が私たちを罪と悪魔の力から解放するのです。ダニエルがバビロンの捕囚の中で、しっかり神を信じ、神に従順に従いました。証のことばを、いのちをかけて守ったのです。バビロン構造の現代社会の体制のただ中で、神の体制を確実に確立して行きましょう！

イエス･キリストは既に打ち勝っています。信仰の勇者たちも打ち勝っています。今こそ私たちの打ち勝つ番です。

「立ちなさい。さあ、ここから行くのです。」（ヨハネ14:31）

［※このみことばは、滝元明先生が全日本リバイバル甲子園ミッションに出かけて行く前に、十日間の断食をして愛知県民の森の山頂で与えられたみことばです。］

リバイバルミッション顧問
有賀喜一
Kiichi Ariga

特集 パンデミック時における礼拝のあり方。

コロナウイルス流行の昨今、緊急事態宣言下にあって教会に集まっての礼拝が持てない教会も多いのではないでしょうか。今回はリバイバルミッションで映像、音響など技術スタッフとして奉仕しているウエストリバイバルサウンドの岩井寛さんに、どの様な映像・配信が可能なのか? についてお話しを伺います。

デジタル機器を使っての伝道

岩井寛さんにインタビューしました。

Q 岩井さんはZoom deフェローシップの教会映像配信フェローシップを担当して下さっていますが、これまで行われているフェローシップに参加されておられる方々はどのような方々が参加されておられますか?

A ニュースでご紹介しておりますように、第1回から3回までは、映像をほとんどやったことのない初心者の方に向けて、YouTube（ユーチューブ）でどのようにしたら配信ができるのか? という基本的なところから皆さんに分かち合っています。第一回目から既に配信をされておられる教会の方々、またYouTube配信に全くなじみのない方も参加して下さっています。中にはすでにZoom（ズーム）で礼拝を配信されていたり、LINE（ライン）の映像通話を通して配信されている教会の方々も多くおられます。また既にYouTubeで配信している教会からの参加者の方もおられます。4回目〜6回目は中級者向けの内容を予定しています。

Q 皆さんが持っておられる問題点はどんなことでしょうか?

A YouTubeであれ、Zoom、LINEにしても、一番多かった問題点は、賛美やメッセージの音声が聞き取りにくいというものでした。やはり映像にのってくる音声がいかに大切かということだと思います。映像はなくとも音声だけがしっかり聞き取れれば、教会から発信されるメッセージや情報を共有できますが、音声が聞こえなかったりすると、受け手側もどうしたらいいのかわからなくなってしまいます。勿論受け取る側のネットが弱かったりするという問題点はあるかと思いますが、配信する側からしっかりと音を届けるためにどんなことが必要なのかを皆さんに教えて行きたいと思います。

Q 先ほど参加者の中にZoomやLINEでの配信をされているということでしたが、配信にはどんな方法が考えられますか?

A 配信にはいろんな方法があるので、一概にはこれがいいとは言えませんが、今回何故YouTube配信の方法をご紹介するかというと、ひとつは、最近の新型テレビにはYouTubeが見れるようになっていて、お年寄りの方でもこれから、簡単にテレビやiPad、スマートフォン、コンピューター等で、設定さえしてあげれば、開いて見られるようになってきています。またYouTubeの場合、その時間に参加出来なかったとしても後からでも見ることが出来る利点があると思います。Zoomはその時間の映像を録画することができますが、後でZoomを見るには録画したものを何らかの方法でYouTubeにアップロードしたり、DVDを焼いたり、解像度を落としてメールで送るなどの手間もかかります。LINEのビデオ通話の場合は、WiFi環境の無い場所ですると通信料が大幅にアップしてしまいます。またLINE通話には録画機能がついていない為、他のもので録画しなければならないという点がデメリットとなります。またfacebookでライブ配信も可能ですが、facebookライブを見るためには、参加者がfacebookに登録し、配信する教会と友達として繋がる必要があります。こういった事などから、今回の配信紹介ではYouTubeで配信する方法を分かち合うことにしました。

Q 配信するには、配信する側と受取り側の環境整備が必要だと思いますが、そのあたりはどのようにしていったらいいと思いますか?

A 配信する側は教会ですが、配信には機材が必要となります。例えば、YouTube配信をするには、最低限でやる方法ならば、コンピュータ内蔵の音声とカメラが付いているものであれば配信は出来ます。（配信手順はフェローシップで教えています。）しかしコンピューターのカメラだとメッセージだけなら問題ないですが、賛美チームの全景や音の調整が難しく、音声がしっかりと届けられない等の問題が出てくるわけです。そういった場合にはカメラやスイッチャーなど配信システムを使えば、より快適に配信できるようになります。また受け取る方々がどんなツールで視聴しているかということもリサーチする必要があると思います。例えば、普段からコンピューターでネットを見ることが出来るのか?スマートフォンを持っておられるのか? というような事です。携帯電話でも電話型の携帯しかお持ちでない方もおられると思いますので、そういう方には教会がどう対応すべきなのかを検証する必要もあると思います。それぞれの教会員の皆さんにあった配信を考えていくべきだと思います。

Q 最後に皆さんに一言お願いします。

A 今回フェローシップをさせて頂いている中で感じていることは、教会の皆さんが何とかして教会員の皆さんに礼拝メッセージを届けようと試行錯誤しておられます。現在ではネットは無くてはならないツールですが、いかにして、すべての年代の方々が家に居ても教会の礼拝に参加できるかが課題です。その為には若い方々がお年寄りの皆さんの家に行って設定して上げたり、状況を把握して教会と相談したりして考えて行かれたら良いかと思います。どこにいても神を礼拝できるようになることを願っています。また1日も早く皆が顔を合わせて礼拝出来ることを祈っています。

今、教会ができること

平岡修治師にインタビューしました。

Q 今のこのコロナ禍と言われる中で、先生が今危惧していることは特になんでしょうか?

A 先月号のコラムでも触れましたが、教会が礼拝と聖餐式が持てないのは危機的状態であると思っています。礼拝というギリシャ語の語源は「神の民の勤め」であり、神への奉仕であります。歴史の中で、パンデミックの時には社会構造だけでなく、教会も大きく変化しました。ヨーロッパの人口の3分の1が亡くなったといわれるペストの大流行の最中でマルチン・ルターの宗教改革は行われ、プロテスタント教会が誕生したのです。ルターは礼拝を命がけで守るようにと言いました。戦争やパンデミックの中であっても、人間側の都合で礼拝を中止したり、また再開するようなことがあってはいけません。このことに関してはインターネットなどにより多くの教会もメッセージは届けることが出来るようになったと思います。

Q 礼拝と同じように重要なのが聖餐式とのことですが、どのようにこのコロナ禍で持てばいいのでしょうか?

A 今までと同じように礼拝に集えなく、この1年半ものの間、全く聖餐に預かれていない方もおられると聞きます。その方々のために牧師や教職が個別に出向いていって行う聖餐を行う配餐も考慮すべきでしょう。主との交わりの継続という点からも必要性を感じます。礼拝と聖餐式のセットは重要不可避です。

Q 日本は今回特に危機管理が低かったと言われますが、教会もそのような危機管理が低かったと思われますか?

A 日本だけでなく、世界的にも当初、新型コロナウィルスに対しての危機管理が甘かったと思います。パンデミックは歴史を変え、教会を変えてしまいます。中世にペストが大流行した時、多くの人々は精神的支柱だったカトリック教会に助けを求め、神に救いを求めましたが、その結果いわゆる三密になり、感染拡大の温床になってしまい、ペストは教会から始まるとまで言われました。そして社会は封建制度が崩れ、カトリック教会の権威は失墜していきました。アフターコロナ、そしてポストコロナという時代を教会も的確に見抜き、備えて行く必要を感じます。すでにインターネットなしの生活は考えられなくなっておりコミュニケーションやグローバル化の中心はインターネットだといっても過言ではない状態です。新しい教会の形を見据えていくことが重要になっていくと思います。なんとかなると思って手をこまねいていると、あっという間になんともならなくなってしまいます。

Q 具体的に今の教会にできることはなんでしょうか?

A 大きく三つの危険を感じています。

第1にみことばから離れる危険です。

多くのクリスチャンがみことばに触れることが少なくなっているように感じます。聖書を読まなくなったら、いのちの糧を得ることができません。世の中の情報に染まり、しかもその自覚がなくなり、教会もクリスチャンも衰退してしまいます。オンライン化は進んではいますが、やはりご年配の方にはまだまだオンライン化は難しいかと思います。私のアイデアとしては、聖書日課を作り、Eメールなどで送るだけなく、紙に印刷し、実際に届けてあげることも重要だと思います。きめ細かくサポートし、できれば少人数で聖書を学ぶ機会をつくることも大切です。

第2は祈りが弱くなる危険です。

集まることが出来なくなると、心を合わせ祈る機会が少なくなります。祈りの目標を定め、投げ出さず、放棄せず、とりなし、見捨てずに祈り続けることが必要です。祈ってもらうために教会として何をしなければならないかを考えなければなりません。祈りはより具体的である必要があります。聖書日課と共に祈りのしおりだったり、その日の祈りの課題を作成したり、年間の祈りのカレンダーを作成したりすることも可能だと思います。また大勢で集まることは難しいですが、公園などの屋外等で、少人数のグループで集まり祈り合うことは有効だと思います。

第3はみことばを伝える事ができなくなる危機です。

多くの教会は、伝道集会を開催できなくなっています。しかし、教会宣教の歴史は試練の連続でしたが、試練の時に福音が拡大しています。AD64—65年、指導者パウロとペテロが相次いで殉教します。直後、初代教会はネロ皇帝による激しい迫害を受けます。その中でマルコの福音書が書かれ、そのことによって宣教は拡大していきます。福音宣教はコリント人への手紙でパウロが語っているように、どうしてもしなければならないことであり、負債です。一人一人の知恵を出し合い、みんなが参加できるシステムを作り、力を蓄える時期でもあると思います。このコロナ禍というトンネルは通過後、その真価が問われます。本物か偽物かのフィルターになるかもしれません。このコロナ禍の中にも主がおられるということを忘れず、祈り励まし合い前進していくことが大切だと思います。

大好評!!
Zoom deフェロシップ
全フェロシップ無料!
無料コンテンツ
10月のフェロシップ

A 教会映像配信フェロシップ
講師／岩井寛 West Revival Sound 代表
10月1日［金］20:00〜
Zoomの機能解説と実際の配信であった失敗談（中級）
■以降の日程10月22日（金）・11月5日（金）

B クリスチャンビジネスフェロシップ
講師／岡本信弘 新城教会牧師・（株）プレイズ代表取締役
10月13日［水］20:00〜
飲食店の経営について
■以降の日程11月10日（水）・12月8日（水）

C 韓国語フェロシップ
講師／チェ・ヨンドゥ シャローム教会牧師・ゴスペルシンガー
10月5日［火］20:00〜
賛美で韓国語を学ぼう!
■以降の日程11月2日（火）・12月7日（火）

毎月連載中のコラムQ&Aはお休みです。来月号をお楽しみ下さい。

スペシャル企画

収穫の秋、日本のリバイバルに備え、

国内外の講師陣達が「リバイバルの励まし」「霊的戦い」「聖書の学び」「クリスチャンライフセミナー」など バラエティに富んだセミナーを思う存分味わうことができます。

11月23日［祝・火］

※詳細は11月号にて発表!

霊的戦い 専門課程

第10期VOL.1（10月配信分）

動画配信

神の国の実現のために!!

講師／滝元順・鈴木陽介 他

◉受講料／8,000円（全10講義×45分）

◉年間10ヶ月分お申し込みの場合は 年間80,000円→72,000円（1回分お得です）

有料コンテンツ

◉動画視聴期間／第10期・VOL.1（10月配信）

10月4日［月］—10月31日［日］

Vimeoのオンデマンド配信にて視聴できます。

戦略的とりなしと調査専門課程

戦略的とりなしと調査専門課程 9月レポート&参加者の声

9月度も全国から約30名の方がZoomやYouTubeを通しての受講を申し込んでこられ感謝いたします。今回は2つのテーマを中心に学ぶことができました。

REPORT

第1セッション◉情報化された戦略的とりなし（informed intercession）をささげていくために、様々な視点でしっかり調べキリストの体として理解し、とりなし続ける必要があることを学びました。

第2・3セッション◉主が愛し造られた被造世界に対するとりなしへの歩みの分かち合いと、とりなしがさらなる深みに届けられていく事、良き管理者としての霊性を主から受け取っていくことについて、そして「主題発表」では、震災をきっかけに農業に携わるように導かれ、働きながら伝道牧会をされている熊本・高森キリスト教会牧師・菅原亮先生を通し学ぶことができました。

参加者の声❶

望先生からは、主からの情報を受け取り、聖霊様の助けによりとりなし祈る大切さを教えて頂きました。豊富な調査のおあかしも感動しました。菅原先生ご夫妻の地域に根ざしたお働きがこれからも豊かに実を結びますようにと願っています。私の郷里は京都府の田舎ですがトラクト配布などを通して、祈り、接点を持って行きたいと願わされました。何度も今回の専門課程のご連絡ありがとうございました。主の祝福をお祈り致します。—T・Tさん

参加者の声❷

今回のセミナーも私にとって、大変恵まれたものとなりました。主にある働きを感謝します。私が、「世」を批判的に見て、関わりを最小限にしたいという、窮屈な内向きな状態にいたということに気付かされました。それは、世を愛されたイエス様の思いと離れたものだと感じました。私にとって、「地に足をつけた伝道」として、主から任されている領域は何であるかを祈り、受け取り、進めていきたいと思います。感謝します! — K・Tさん

参加者の声❸

地道なとりなしを積み上げていく中で、地域の人々との直接的な関わりが開かれ、地域の営みそのものの中に主の恵みが届けられていくこと。祈りが実を結んでいくことを教えられて感謝でした。主イエス様が世を愛されたということが、私たち人間の救いだけではなく、被造物世界や全ての社会構造に至るまで広く、深いものであることを学ばされました。更に、自分自身の足元においてもそのような視点を描きながら祈って行く者でありたいと願わされました。—M・Yさん

参加者の声❹

まず望師より、「情報化されたとりなし」と題して、主からの情報を受け取り、キリストの身体のネットワークに連なり、祈っていく大切さを教えられました。また菅原師からは熊本震災時の支援を通して、地域社会と教会の間にあった壁が崩され、教会の働きがさらに地の深みへ導かれていることのお証をしてくださいました。セミナー全体を通して、コロナ禍の中にあっても、主は計画をもって働いておられ、人間を含めた被造世界全体を愛してくださり、その回復のために私たちが遣わされていることを教えられました。私自身も、『深みに漕ぎ出し網を下ろし』ていこうと再び燃やされる思いが与えられました。—M.Yさん

祈りの課題

- ■日本に魂の収穫の時、リバイバルが起こされるように
- ■世界中に蔓延しているコロナウィルスの流行が1日も早く終息するように
- ■癒しの扉、奇跡の扉が開かれるように
- ■みなさんのご家族、友人、地域が癒され、リバイバルされるように

Pray for Revival

10月のPray for revivalは、リバイバルの収穫を願い祈り求める「リバイバル・回復」をテーマに皆さんでお祈りしたいと思います。心を合わせ、家族、友人、地域、日本、世界のリバイバルを祈り求めましょう!

10月14日［木］朝10時～

※祈りの課題がある方は revivalmission.pray@gmail.com まで課題をお寄せ下さい。

Wakamono Worship Wave

救い What Jesus Did for Us

毎月第3金曜日に配信中!ワカモノクリスチャン発信の賛美と祈りの集会です。10月は「救い」がテーマです。イエス様が私たちの人生にしてくださった事とは?クリスチャンである私たちにとって、「救い」とは何なのか、皆で考えよう!

次回 Live 配信

10.15 fri pm8:00–

◉皆さんの「救いの証」を募集しています!
まずはテキストでお送りください。→**〆切10/1（金）**

◉賛美動画、随時募集中!賛美の形は自由!
皆さんの賜物を用いて、どんな動画でも是非お送りください♪
※可能でしたらギガファイル便などで動画URLを作り、お送りください。

◉応募はこちらから
メール suridabu.rm@gmail.com
インスタDM wakamono_staycafe_rm

いつもリバイバルミッションのためにお祈りご支援くださり、心から感謝いたします。

オリパラも終了しましたが、なかなかコロナ感染状況も先が見えず、ゼロコロナではなく、まさにwithコロナの時代へと向かっています。教会でもクラスターが発生したり、集まることの不安や恐れもあり、今後どのように宣教を継続していけばいいのか、信徒へのフォローはどうすればいいのかと、行き詰まっています。リバイバルミッションの働きもまだまだ試行錯誤の繰り返しですが、日本の宣教をサポートしていくことが出来るように皆様からのご支援をよろしくお願いします。

◉献金送付先
三菱UFJ銀行／名古屋営業部 普通 2569313
ゆうちょ銀行／振替口座 00860-0-33814
クレジットカードによる献金
http://j-revival.com/rm/card/

◉会計報告2021年7月度

収入		支出	
前月繰越金	470,373		
一般献金	1,671,886	事務運営管理費	1,246,092
集会献金・参加費	0	一般旅費交通費	43,052
国内宣教指定	216,600	通信費	460,862
世界宣教指定	23,600	印刷費	227,458
セミナー参加費・献金	262,700	集会諸経費	99,792
ざわめき指定	149,800	セミナー諸経費	65,075
		ざわめき諸経費	119,737
		神学校借入返済	349,956
収入合計	2,324,586	支出合計	2,612,024
		次月ミッション繰越金	182,935

Revival Mission リバイバルミッション

フリーダイヤル 0120-291-372
〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220
✉office@j-revival.com
URL: http://www.j-revival.com

※次回11月号のニュースは10月17日(日)発行予定です。

リバイバルミッション情報

祈りのLINE登録してお祈りください!

リバイバルミッションのホットな情報と祈りのリクエスト、集会の様子などを配信します!

◎友達登録方法・・・「友達追加」からQRコードリーダーにてQRコードを読み込んで登録

YouTube

それぞれフォロー、登録して下さい。
Facebook、Instagram、Twitter、YouTubeのアカウントがあります。